

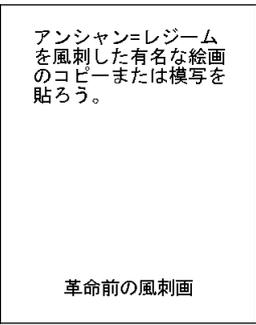
フランス革命の背景

1) 革命前、絶対王政下のフランスの社会体制は【1: 】(旧制度)と呼ばれる。

国王は王権神授説を基礎に官僚制と常備軍によって統治し、人々は身分制秩序のもとにあった。

事業の成功で豊かになった平民が官職を買って貴族になる例もあり身分間の流動性は若干はあったが、身分制の原則は維持されていた。

- ①第一身分 【2: 】 人口の約0.5% 約12万人
上級聖職者はほとんど貴族出身。大土地所有者で支配階級。莫大な教会財産は非課税(免税特権)である。 下級聖職者には平民出身が多く革命の立場に立った者も多い。
- ②第二身分 【3: 】 人口の約1.5% 約40万人(推定)
貴族と言っても、宮廷貴族(年金支給) / 地方貴族(農民を搾取) / 法服貴族(富裕市民)などがあるが、国庫収入の約50%は彼らの年金に充てられていた。
貴族は、官僚・軍隊・裁判所などで高い地位につき、高給を与えられていた。
領主の大半は貴族で、国土の30%~40%を所有。領地における**裁判権・課税権**を特ち、莫大な財産、収入は非課税(免税特権)であった。
徴税を担当する役人の大半は貴族で、その取り分は多すぎた。



以上の①と②が**特権身分**で、合計しても全人口の2%にすぎないにもかかわらず、全土の60%を所有。免税特権を持つ。なお、**農民は全人口の80%である。** 07J

③第三身分 【4: 】 農民や都市の民衆 全人口の98% 約2,450万人
平民は重い税負担で国家財政を支えているにもかかわらず政治的発言権は全くない。特に農民は領主への重い貢租と重税に苦しんでいた。平民の中でも、下層の人々や都市の下層民衆を【5: 】と言ひ、重要な局面で何度も武装蜂起し革命を進展させた。

2) 18世紀になると第三身分の中から資本家的な活動をする富裕な市民(上層の商工業者)が成長し、【6: 】と呼ばれた。彼らは貴族の特権や領主制、絶対王政に反発を強め、自分たちの経済的実力にふさわしい社会を求めていた。特権身分の中にも『第三身分とは何か』の著者シェイエス(1748-1836、第三身分出身の聖職者で第一身分)のように啓蒙思想の立場からアンシャン=レژیームを批判する者も現れた。

3) 最終的には、富裕な市民層は、アンシャン=レژیームを廃して彼らにとって都合な社会を実現したが、アンシャン=レژیームを廃棄する階級闘争に命をかけた都市の民衆や農民たちは、まことに不十分な権利しか得られず、かれらは富裕な市民層が推進する資本主義経済にも反対せざるをえず、更なる革命を構想する勢力もあった。このような事情から非常に複雑な経過をたどった上に、最後には皇帝ナポレオンが登場する講義録No.123から125の内容は、世界史学習の中でも、異彩を放つ部分であり、出題頻度も高い。教育実習生諸君が実習授業でやりたくなる部分でもある。

革命の勃発

1) 七年戦争でイギリスに敗れた原因の一つは財政問題で、18世紀後半、フランスは社会や経済の仕組みを近代化する必要に迫られていた。改革派は、**啓蒙思想**や**アメリカ合衆国独立**の影響を受け、市民的権利や経済活動の自由を要求し始めた。18世紀後半、フランス国家財政は極度に悪化していた。

◀**財政危機の主な原因**▶ 諸戦争、特に**アメリカ独立戦争**に参戦したこと。宮廷内の浪費が強調されるが、それは財政危機の主要な原因ではない。アメリカ独立戦争を支援した理由は、七年戦争でイギリスに敗れた対抗措置として。

◀**財政再建をはかる国王**▶ 国王ルイ16世 位1774-92 は改革派を登用して財政の立て直しをはかった。

☆重農主義者【7: 】 1727-81 を**財務総監**に任命、**その失脚**(1776)後、銀行家【8: 】 1732-1804 を**財務長官**(権限は財務総監と同じ。外国人なので総監になれない)に任命(1789解任、バステューユ襲撃事件後再任されるが1790辞任)。
ネッケルは免税特権を持つ聖職者や貴族からも徴税しようとした。既得権を奪われることに反対する貴族など特権階級の抵抗で改革は成果をあげ得ず、かえって政治危機を招いた。おまけに、1786年の**英仏通商条約**(イーデン条約)締結で、イギリス商品が大量に流入して不況に陥り、**凶作**も重なって、各地に騒擾が発生するほど**経済的・社会的危機**が高まった。

2) 貴族はこれを王権を制限する好機ととらえ、免税特権の廃止を求めるネッケルの提案は【9: 】の承認が必要であるとして、**三部会の開催**を要求し、ルイ16世は開催に同意を与えた。しかし、それは貴族たちにとっても想定外の展開となっていくのである。

三部会は1302年、ローマ教皇ボニファティウス8世と闘争中のフィリップ4世が設立、1615年に実質解散となった。以下の1789年の再開は実に170数年ぶり。

3) 1789年5月5日、三部会は**170数年ぶりにヴェルサイユ宮殿で開催された!** 07J

三部会は、伝統的な1身分1票(身分別議決法)を主張する第一身分(308名)・第二身分(285名)、1人1票(個人別票決)を要求する第三身分(621名)の間で紛糾し、議事に入れず40日間空転した。**代表の総数は約1200名。**

1789年

6月17日 第三身分の部会は、三部会より分離して自らを【10: 】と名乗った。

この名称は『第三身分とは何か』の著者、シェイエス 1748-1836 の提案による。

貴族のミラボー伯爵、聖職者シェイエスも合流。

6月19日 第一身分の多くと第二身分の一部がこれに合流した。この**国民議会**はフランス革命初期の議会として、「91年憲法」の制定まで続いた。

6月20日 当初、**国王は国民議会に対して議場の使用を禁じた**。議員たちはやむなく球戯場(テニスコート)に集まり、「**憲法が制定されるまで決して解散せず**」と誓い合った。これが有名な「**球戯場(テニスコート)の誓い**」である。球戯場ではないので注意すること。

国民議会

6月27日 国王はやむなく国民議會を承認した。

模写するかコピーを貼ろう

ダヴィット 『球戯場の誓い』(1789.6.20)

- 4) 同1789年7月9日国民議會は【11: _____】と改称し、
フランス初の憲法制定作業に着手した。
 厳密には7月9日以降は国民議會ではなく憲法制定国民議會と呼ぶべきであるが、慣用的に国民議會と呼ぶ。
☆しかし、国王は軍隊をパリに集め、武力弾圧を計画☆
- 5) 7月11日 国王は、軍2万をパリに集結させ、その威力の下に、税制改革（特権身分への課税）を主張して民衆に人気の蔵相**ネッケル**を罷免した。これは王妃マリ=アントワネットや王弟アルトワ伯らの独断であった。国王はパリ民衆に対する武力鎮圧には消極的であったが、最早、国王政府は、ルイ16世の一存では決定できないほど強硬派で占められていた。王弟アルトワ伯とは、ルイ16世、ルイ18世の弟、後のシャルル10世である。

国民議會から民衆革命へ 1789年7月14日 は絶対覚えること！

- 1) ①**英仏通商条約**(1786)による経済的混乱の下、**不作**や物価上昇による生活苦、②国王が国民議會に対し武力弾圧を準備したこと、③**ネッケル**を罷免したことで人々の不満は、いっきに燃え上がった。サンキュロットなどパリの民衆とブルジョワジーたちは憤激し、迫る武力制圧に抗して自衛のために武装するのを感じた。パリの民衆は蜂起し、ネッケル罷免の翌日(7月12日)には廢兵院に押しかけ3万丁の小銃を奪い、さらに**武器弾薬の調達のために武器庫のあるバステュー要塞へと向かった**。バステュー要塞は絶対王政の圧政の象徴であった。俗に言う「政治犯釈放のため」は不正確である。

本来**要塞**なので武器庫がある。絶対王政下では牢獄としても使用されていたので「バステュー牢獄」でも誤りではない。

模写するかコピーを貼ろう

- 2) 1789年7月14日、サンキュロットなどパリの民衆とブルジョワジーたちは【12: _____】を襲撃し、武器庫を襲い、武器・弾薬の奪取に成功した。しかし、守備兵との衝突で100人以上の死傷者を出す惨事となった。これをきっかけに、地方でも**農民の蜂起**が起こり、**領主の館がおそろい、全国的な動乱状態**となった。これがフランス革命の始まりであり、今も革命記念日とされている。
 日本では「パリ祭」と言うが、これはパリの下町を舞台にしたラブ・コメディ映画 *Quatorze Juillet* (フランス語で7月14日) が邦題『**巴里祭**』として公開(1933年)されたことから来ているのでフランス人には通じない。

バステュー要塞(牢獄)襲撃

- 3) 1789年 8月 4日 国民議會は、①【13: _____】の廃止を決定(「8月4日の宣言」)
 8月 26日 国民議會は、②【14: _____】を採択した。

- ①**封建的特権の廃止** 農民反乱をおさえるために行った。 提案者は**ノアイユ**(貴族で軍人)
 農奴制、領主裁判権、教会の十分の一税など……**無償で廃止** これにより人格的自由は獲得できた！
貢租(廃止は有償)・・・廃止には20~25年分の年貢の一括払いが必要。(山岳派政権の下、1793年に無償廃止)
 貧農の土地所有は不可能だったが、それでも、これを境に農民反乱は急速に沈静化した。

- ②正式には「人間および市民の権利の宣言」だが、「**人権宣言**」でどの**試験もOK**。
 17条と短いが、**人間の普遍的な自由・平等、圧政への抵抗権**を自然権として認め、その維持を政治の目的と宣言。その実現の手段として**国民主権、法の支配、権力分立、私有財産の不可侵**を規定した。**フランス革命の普遍的理念**が示された、**人類の歴史に永久に残る超一級の重要な文書**である。必ず読むように。
 i **アメリカ独立宣言**と**ルソーの啓蒙思想**、両者の影響が見られる。
 ii **アメリカ独立戦争**に従軍した【15: _____】1757-1834らが起草した。
 iii **経済活動の自由**を求めるブルジョワジーの意志が反映している。

- 4) ところが、**国王は人権宣言を認めない!**
 1789年10月5日 【16: _____】(「十月事件」)

政情不安から穀物がパリに充分搬入されずパンが高騰した。約7000人が雨の中を**20kmも行進**してヴェルサイユ宮殿に乱入した。先頭に立ったのはパリの女性たちである。

国王の反革命の動きを警戒する民衆の圧力は、**国王一家をパリに移住させて、テュイルリー宮殿で監視下に置き、ルイ16世に、①「8月4日の宣言」および②人権宣言を承認させた**。国民議會も様々な政治勢力もパリに移り(それまでヴェルサイユ宮殿にあった)、政局の中心はパリに集中した。

絵画『ヴェルサイユ行進』は必ず見ておくこと。

パンを求めるパリの「おかみさん」たちの大群を見下ろして、「パンがなければケーキを食べればよいのに(出典不明、未確認)」と言ったことにされているのは王妃マリ=アントワネット。この発言は史実ではない。

模写するかコピーを貼ろう

ヴェルサイユ行進 (1789. 10. 5)

- 5) 翌1790年、国民議會は、③**全国の行政区画**を改め、④**財政難解決のため教会財産**を国有化して競売にかけ、⑤**度量衡単位**の統一を宣言(ただし、メートル法は1795年/正式採用は1799年)、⑥**ギルド**を廃止するなど、市民層が求める改革を実行した。

前掲3) 4) の①②は1789年、③④⑤⑥は1790年であることを覚えておこう。